

三種町の八竜地域は、昔から甘くて美味しいメロンで有名で、この地域の農産物の 70%を占めている。特に価値のある品種は、八竜地域でのみ栽培される、6 月から 7 月が旬の「サンキューメロン」である。もう一つの人気の品種は、舌にチクチクする後味の特別な甘さで知られる「タカミメロン」である。

八竜のメロン生産量は、1980 年代後半をピークに激減している。農業人口の高齢化が進み、これらの高級フルーツの受粉から栽培、収穫までに必要な難しい技術を学ぶ意欲のある若者が少なくなっていることが起因している。日本で生産される多くの果物と同じく、見た目が重要である。つまり、いい値段で販売するには、メロンは丸く、大きく、キズがないことが求められるのである。

八竜メロンは、ドラゴンフレッシュセンターと呼ばれる地元のファーマーズマーケットで、ずらりと並んださまざまな果物や野菜と一緒に販売されている。地元の JA（農協）の支援を受けて運営されているセンターには、約 100 の地域の農場が登録されている。すべての農産物には、生産者の名前が入ったラベルが貼られている。たいてい農家の妻たちが市場での販売を管理し、男性は畑で働いている。

ポールに巻きついた大きくて怖い竜の像があるので、道路からすぐにドラゴンフレッシュセンターを見つけることができる。市場は年中無休で午前 9 時から午後 6 時まで開いているが、11 月から 2 月の間は午後 5 時に閉まる。